2019年度「乳の社会文化」学術研究実施要領

乳の社会文化ネットワーク

一般社団法人Jミルク

１．目的

「乳の社会文化ネットワーク」（以下「社会文化NT」という）は一般社団法人Jミルク（以下「Jミルク」という）と共同で、日本における乳の生産・利用の特質とその形成過程や持続可能性、乳の価値創造活動など「乳」に係る社会的・文化的な研究を推進することを目的に、研究計画の公募・選考を行い、「乳の社会文化」に関する学術研究を研究者もしくは研究グループ（大学院生を含む。以下「研究者等」という）に委託する。

２．研究テーマ

委託する学術研究のテーマは次の通りとする。

（１）特定研究

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | テ　ー　マ | 内　　　容 |
| ① | 牛乳乳製品のマーケティング | 牛乳乳製品の価値創造に通じるマーケティング研究。例えば、コミュニケーション革新、流通チャネル革新、プライシングに関する研究など |
| ② | 牛乳乳製品の食生活への受容 | 牛乳乳製品の食生活への受容の歴史、受容の現状と課題、「美味しさ」の感情や記憶の創出に関する研究など |
| ③ | 次世代酪農の可能性 | 酪農の持続可能性を探るための社会的・文化的な研究。例えば、酪農生産、フードチェーン、制度・政策、評価手法に関する研究など |
| ④ | 持続可能な開発目標（SDGs）の達成への日本酪農の貢献 | SDGsの達成に向けて、日本の酪農（特に乳の生産と利用）が強化するべき機能、改善するべき課題、新たに取り組むべき課題についての研究。 |

（２）一般研究

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | テ　ー　マ | 内　　　容 |
| ⑤ | 乳及び酪農乳業に関する社会的・文化的視点からの研究 | 牛乳乳製品の食文化的意義、酪農乳業の歴史及び社会経済的な意義に関する研究など |

注）「牛乳」もしくは「乳」とは、食品としての牛乳乳製品を意味する。（「乳」にはヤギ乳・ヒツジ乳を含む）

３．研究採用数

上記２（１）、（２）をテーマとする研究計画の応募申請の中から8件程度を採用する。

４．応募資格

国内の大学及び短期大学、専修学校、国･地方公共団体の設置する研究所、独立行政法人の研究機関等で学術研究を行っている研究者等（大学院生を含む）もしくは特定の機関等に属さない個人研究者とする。

５．委託の要件

①未発表の研究であること。

②採択された研究者等は、社会文化NT及びJミルクが東京都内で2019年3月に開催予定の学術研究計画発表会において、研究計画を発表すること。

③研究については、「乳の社会文化」学術研究審査委員会（以下、「審査委員会」という）に報告書を提出し、評価を受けること。

④研究成果は、原則として、研究期間終了後2年以内に学会誌等で公表すること。

⑤研究成果を公表する場合、事前に社会文化NTに連絡すること。

⑥研究成果の公表に際しては、社会文化NT及びJミルクの学術研究支援を受けたことを明らかにすること。

⑦研究成果の公表後は、その刊行物（e‐ジャーナルを含む）や発表資料等の写しを社会文化NTに提出すること。

６．委託期間

同一研究計画に対する委託期間は、原則として1年を超えないものとする。なお、研究成果を踏まえ研究の継続を希望する場合は、改めて本学術研究への応募申請を行うことができる。

ただし、やむを得ぬ事情がある場合には、審査委員会の審査を経て、委託期間の延長を認めることができる。

７．委託研究費の金額

年間1件当たり原則として70万円（消費税込）以内とする。ただし、海外渡航調査など多額な費用が含まれる場合、100万円（消費税込）以内とする。

※個人契約の場合、本委託研究費は、所得税法等の規定により源泉所得税の課税対象となるため、源泉徴収額を差し引いた金額を支払うこととなります。

８．委託研究費の支出基準

委託研究費は、調査・研究の実施に必要な次の経費とする。

　①消耗品費　：資材、部品、消耗品等の購入経費。

ただし、1件あたり10万円以上の物品は含まない。

②謝金等　　：調査・研究に携わる補助員・学生等の労務に対する作業代や、被験者・被調査者等に対する謝礼など

③旅費　　　：研究者及び補助員（学生・大学院生を含む）の外国・国内への出張又は移動に要した交通費、宿泊費など。なお、国内外を問わず、本研究成果の発表を行わない学会出席のための旅費は対象外とする。

④印刷製本費：資料の印刷、製本等に要した経費

⑤会議費　　：会議等の開催に要した経費

⑥通信運搬費：郵便料、振込手数料等

⑦賃借料　　：電子機器等の賃借や使用に要した経費

⑧投稿料　　：研究成果の学会誌への投稿に要した経費

　⑨その他経費：上記の各項目以外に必要な経費。具体的な内容の項目を記載し、それぞれの経費

の金額を記載すること。

※本学術研究は、研究助成として業務を委託するものです。そのため、本委託研究費は全額を学術研究の調査・研究に充てるものとし、間接経費を含みません。間接経費については、所属機関内にて免除手続き等を行うこととします。

※本委託研究費の支出にあたっては、研究目的を達成するための必要性を十分吟味し、且つ、可能なものは相見積もりを取るなど、地域水準や社会通念に照らして適切な金額となるように努めてください。

※ご不明な点は、本実施要領末尾に記載の事務局までお問い合わせください。

９．申請手続き

別紙の2019年度「乳の社会文化」学術研究申請書に必要事項を記載のうえ、事務局宛てに電子メールまたは郵送等により送付すること。学術研究申請書の電子データを希望する場合は、事務局に依頼すること。

10．申請期間

2018年10月1日（月）～2018年12月31日（月）

11．選考方法

審査委員会が、必要に応じて各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定する。

 　＜審査委員会＞

委員長　　　生源寺　眞一　　福島大学農学系教育研究組織設置準備室　教授

副委員長　　小長谷　有紀　　国立民族学博物館超域フィールド科学研究部　教授

　　　　阿久澤　良造　　日本獣医生命科学大学　学長

　　　　　　　　　　　上田　隆穂　　　学習院大学経済学部経営学科　教授

　　　　　　　　　　　鵜川　洋樹　　　秋田県立大学生物資源科学部アグリビジネス科　教授

　　　　　　　　　　　江原　絢子　　　東京家政学院大学　名誉教授

大江　靖雄　　　千葉大学大学院園芸学研究科　教授

小川　美香子　　東京海洋大学学術研究院　准教授

小林　信一　　　日本大学生物資源科学部動物資源科学科　教授

前田　浩史　　　一般社団法人Jミルク　専務理事

南山　宏之　　　株式会社アクサム　代表取締役／ディレクター

和仁　皓明　　　西日本食文化研究会　主宰

12．決定通知

①採否の結果は、2019年2月中に、別紙の2019年度「乳の社会文化」学術研究申請書に記載された「1．研究代表者」に通知する。

②委託研究に採択された研究者等は、2019年3月にJミルクホームページ等において公表される。

13．委託契約の締結

社会文化NT及びJミルク並びに研究者等は、別に定める委託研究契約書により契約を締結する。

14．委託研究費の交付

①本委託研究費の支払は、委託研究が完了し、その額が確定した後に行うものとする。

②ただし、研究者等からの請求に基づき、本委託研究費は概算払いされる。

③研究を中止する場合、委託研究費の使途が不適当とみられる場合、または概算払いした委託研究費に残額が生じた場合は、委託研究費の一部または全部の返還を請求することがある。

④個人契約の場合、源泉徴収額を差し引いた額を振り込むこととする。

15．研究報告書の提出

①研究者等は、研究報告書を委託研究期間の終了後45日以内（2020年5月15日(金)まで）

に提出しなければならない。

　②研究報告書の字数は1万～3万字（厳守）、書式はA4横書きとする。詳しくは、事務局より別途連絡する。

16．研究成果の公表

　①研究者等は、社会文化NT及びJミルクが東京都内で2020年8月に開催予定の学術研究報告会において研究成果を発表しなければならない。この報告会において、審査委員会の審査を経て優秀な研究報告は表彰される。

②社会文化NT及びJミルクは、本項①の学術研究報告会開催後、提出された研究報告書を取りまとめ、公表する。

※前述「５．委託の要件」の項に本委託研究の成果を公表する旨を記載しておりますが、研究成果の発表については学会等を通じた外部への公表にプライオリティがあるとの判断から、本項①に記載した「乳の社会文化」研究報告会での発表は本委託研究の中間報告段階のものとして扱わせていただきます。

17．収支報告書の提出など

　①研究者等は、本委託研究費の使用実績を収支報告書に記載し、上記15の研究報告書と同様に委託研究期間の終了後45日以内に提出すること。

②研究者等は、本委託研究費の使用実績については、他の研究等と区別し、帳簿を備えて収支の内容を記録しておくこと。

③研究者等は、上記②に関する証拠書類を、当該研究の完了した年度の翌年度から起算して5年間保管すること。

18．個人情報の取り扱い

別紙の2019年度「乳の社会文化」学術研究申請書に含まれる個人情報は、本学術研究の業務の目的以外には一切使用しないこととする。

19．「乳の社会文化」学術研究に関する問い合わせ先・提出先

乳の社会文化ネットワーク事務局

〒104-0045 東京都中央区築地4-7-1築地三井ビル5階

一般社団法人Jミルク内「乳の社会文化ネットワーク」事務局　担当：細谷

電話 03-6226-6352　FAX 03-6226-6354　E-mail：t-hosoya@j-milk.jp

（別紙）

2019年度「乳の社会文化」学術研究申請書

提出日　　　年　　月　　日

1. 研究代表者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| フリガナ氏　名 |  | 生年月日 |  |
| 所属研究機関・部局・職 |  |
| 所属研究機関住所等 | 〒TEL　　　　　　　　　　FAX |
| E-mail |  |
| 自宅住所 | 〒TEL　　　　　　　　　　FAX |
| 研究代表者の略歴 |

1. 研究課題

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 |  |
| 研究形態 | 個人　・　共同（該当項目を○で囲んでください） | 研究テーマ№ | ①~⑤いずれか記載 |
|  |
| 共同研究の場合の研究メンバー（所属研究機関・部局・職、氏名を明記） |

1. 他の団体等から助成中・内定または申請中の助成の有無とその概要

|  |  |
| --- | --- |
| 本研究と同一または関連する研究への助成の有無 | 有　　・　　無（該当項目を○で囲んでください） |
| 「有」場合、該当する研究テーマごとに、①助成団体名称、②助成金額、③助成期間、④該当研究テーマでの役割（研究代表者か共同研究者か）、⑤その他必要事項（本研究との関連など）を記載する。【研究テーマ】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　①　②　③　④　⑤【研究テーマ】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　①　②　③　④　⑤ |

1. 研究目的･計画･方法（1,500字以内）

注：以下の内容を盛り込むこと

1. 研究目的
2. 調査・研究の計画及び方法
3. 国内外における先行研究の状況（自己の研究も含む）及び関連文献
4. 本調査・研究の特徴点と意義
5. その他特記すべき事項（過年度に同様のテーマで応募している場合は、これまでの成果と今回の調査・研究内容について比較、整理して記入する）
6. 外部への研究発表計画（学会、紀要、学術専門誌等の名称を記入する）

|  |
| --- |
|  |

1. 調査・研究期間

2019年4月　～　　　年　　月

1. 支出計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 支出基準 | 経費項目 | 積算基礎 | 金額(千円) |
|  |  |  |  |
|  |  | 合　計 | 千円 |

1. 研究代表者、共同研究者の業績目録

 (過去3ヵ年間について記入)

|  |
| --- |
|  |

＊本申請書の各記載欄は、必要に応じて枠を拡張して記載すること。